

令和 2 年度 土橋自然観察教育林連絡協議会

< 会 議 次 第 >

1 開 会

2 役員の改選について

3 議 題

(1) 報告第 1 号 令和元年度土橋自然観察教育林関連事業報告について

(2) 報告第 2 号 令和 2 年度土橋自然観察教育林関連事業中間報告について

(3) 議案第 1 号 令和 3 年度土橋自然観察教育林関連事業計画案について

4 閉 会

と き 令和 2 年 1 2 月 1 5 日 (火) 1 8 時 3 0 分～

ところ 厚沢部町図書館 (視聴覚室)

厚沢部町教育委員会

2 役員の改選について

会長
副会長
監事

報告第 1 号 令和元年度土橋自然観察教育林関連事業報告について

土橋自然観察教育林

主管係	社会教育係	記入者		富 塚 龍
事務事業名	土橋自然観察教育林管理事業	中期計画上の位置づけ		土橋自然観察教育林の活用
10 款 5 項 5 目	教育林管理費	事業費	H29 実績	3, 1 8 4 千円
			H30 実績	2, 0 5 2 千円
			R 元実績	1, 3 9 5 千円
事業の目的 (求める成果)	(1) 土橋自然観察教育林の自然環境を保護し、その価値を維持する (2) 土橋自然観察教育林の活用に必要な遊歩道等の施設を管理し、利用者の安全を確保する (3) 土橋自然観察教育林の活用に必要な情報収集及び広報、学習機会を提供する			
事業対象と手段 (誰に何を)	①教育林コーディネーター活用事業（未実施） 期 日：通年 内 容：情報収集及び発信、見回り及び保護活動、利用者対応、遊歩道管理			
	②教育林巡回監視事業 期 日：4 月～1 1 月 内 容：巡回監視により、遊歩道破損状況及び危険箇所、看板等設置物破損状況、危険動物痕跡を発見・報告する。			
事業対象と手段 (誰に何を)	③土橋自然観察教育林管理事業 ア 遊歩道修繕（木橋修繕） 期 日：令和元年5月28日 イ 遊歩道及び見本林草刈 期 日：令和元年6月6日～令和元年11月30日 ※歩道3回（延べ延長14,588m）、見本林2回刈（延べ面積3.36ha） ウ 倒木処理 期 日：令和元年6月13日～令和元年8月31日 ※処理本数3本			
	④教育林講座開催事業 事業名：ひやま木育フェスタ in あっさぶ 期 日：令和2年2月16日（日） 参加者：20名 内 容：檜山振興局森林室と共催で開催。レク森内を散策し、動物の足跡や樹木について説明。その他にクラフト体験や染め物体験を実施。			
事業対象と手段 (誰に何を)	⑤教育林観察会開催事業（未実施） 内 容：教育林コーディネーターを活用した自然観察会及び工作教室			
	⑥土橋自然観察教育林連絡協議会運営 期 日：令和元年12月4日（水） 内 容：事業報告と教育林の保護と活用に関わる事業計画の協議			
事業対象と手段 (誰に何を)	⑦ヒノキアスナロ人工林植栽地整備事業（未実施） ア ヒノキアスナロ人工林環境調査事業 期 日：5～6月、8～9月（下層植生調査2回）、10～11月（毎木調査） 内 容：調査区域について、下層植生調査と毎木調査を行う。 イ ヒノキアスナロ記念植樹域整備事業 期 日：5～6月（現地視察）、11月（素案提出） 内 容：：今後の記念植樹域の取り扱いについての計画を策定する。			
	⑧ヒバに関する展示物作成事業（未実施） 期 日：1～3月 内 容：森林展示館におけるヒバ（ヒノキアスナロ）の展示物を充実させる。			

自己点検と評価解釈

自己評価項目	評価	評価の解釈・改善や見直しの方法
妥当性 (行政が実施すべきか・手段は？)	A	厚沢部町の特徴的な自然を有する教育林の管理業務や情報発信について、引き続き行政が実施すべきである。
成果 (意図した成果があがったか)	B	コーディネーターの募集をしているが応募が無く、不在となっているため、環境調査や展示物作成は未実施であるが、巡回監視や歩道草刈等、利用者の安全を確保出来ている。 また、土橋自然観察教育林を活用した木育フェスタを森林室と共催し、観察会やクラフト体験などの学習機会を提供した。
効率性 (コスト削減の余地があるか)	B	木橋改修工事等の維持管理費の支出が主であり、コスト削減の余地なし。観察会等様々な事業について、振興局森林室や農林商工課と連携し、土橋自然観察教育林の保存活用を進める。
総合評価	B	今後も町の財産として土橋自然観察教育林を保存、整備、活用していくことが必要であり、継続すべきである。 コーディネーター不在でも実施可能な事業の設計を図っていく。

評価 A：良好（現状のまま継続） B：普通（改善の上継続） C：不良（廃止又は大幅な見直し）

外部評価委員の点検・評価項目

評価欄	評価委員意見
B	改善の上継続 コーディネーターを確保できない場合であっても、実施可能な範囲で工夫しながら取り組んでほしい。

評価 A：良好（現状のまま継続） B：普通（改善の上継続） C：不良（廃止又は大幅な見直し）

報告第2号 令和2年度土橋自然観察教育林関連事業中間報告について

土橋自然観察教育林

主管係	社会教育係	記入者	富 塚 龍
事務事業名	土橋自然観察教育林管理事業	中期計画上の位置づけ	土橋自然観察教育林の活用
10 款 5 項 5 目	教育林管理費	事業費	H30 実績 R 元実績 R2 予算 2, 0 5 2 千円 1, 3 9 5 千円 4, 1 2 3 千円
事業の目的 (求める成果)	(1)土橋自然観察教育林の自然環境を保護し、その価値を維持する (2)土橋自然観察教育林の活用に必要な遊歩道等の施設を管理し、利用者の安全を確保する (3)土橋自然観察教育林の活用に必要な情報収集及び広報、学習機会を提供する		
事業対象と手段 (誰に何を)	①教育林巡回監視事業 期日：4月～11月 内容：巡回監視により、遊歩道破損状況及び危険箇所、看板等設置物破損状況、危険動物痕跡を発見・報告する。 ②土橋自然観察教育林管理事業 ア 歩道修繕（小沼木橋修繕） 工期：令和2年5月27日～7月31日 イ 歩道及び見本林草刈業務 工期：令和2年5月1日～11月30日 歩道3回（延べ延長14,558m）、見本林2回（延べ面積3.36ha） ウ 倒木処理業務 工期：令和2年5月18日～6月5日 11箇所 ③教育林講座開催事業 木育フェスタ in 厚沢部（協力：檜山振興局森林室） 期日：令和2年10月31日（土） 参加者数：28人 内容：木育マイスター案内のもと、林内を散策後、森林室職員による紙芝居や水質浄化実験樹高の測定方法などを説明。木育マイスターや森林室職員による木工クラフトや染め物体験を実施。 ④土橋自然観察教育林連絡協議会運営 期日：令和2年12月15日（火） 場所：図書館視聴覚室 内容：教育林の保護と活用に関わる事業計画の協議。		

自己点検と評価解釈

自己評価項目	評価	評価の解釈・改善や見直しの方法
妥当性 (行政が実施すべきか・手段は？)	A	厚沢部町の特徴的な自然を有する教育林の管理業務や情報発信については、引き続き行政が実施すべきである。
成 果 (意図した成果があがったか)	A	檜山振興局森林室の協力を得ながら事業を実施。土橋自然観察教育林の活用と木育の学習が十分図られた。
効率性 (コスト削減の余地があるか)	A	木橋改修工事等の維持管理費が主であり、コスト削減の余地はない。
総合評価	A	今後も町の財産として土橋自然観察教育林を保存、整備、活用していくことが必要であり、継続すべきである。

評価 A：良好（現状のまま継続） B：普通（改善の上継続） C：不良（廃止又は大幅な見直し）

議案第 1 号 令和 3 年度土橋自然観察教育林関連事業計画案について

土橋自然観察教育林

主管係	社会教育係	記入者		富 塚 龍
事務事業名	土橋自然観察教育林管理事業	中期計画上の位置づけ		土橋自然観察教育林の活用
10 款 5 項 5 目	教育林管理費	事業費	H30 実績	2, 0 5 2 千円
			R 元実績	1, 3 9 5 千円
			R2 予算	4, 1 2 3 千円
事業の目的 (求める成果)	(1) 土橋自然観察教育林の自然環境を保護し、その価値を維持する (2) 土橋自然観察教育林の活用に必要な遊歩道等の施設を管理し、利用者の安全を確保する (3) 土橋自然観察教育林の活用に必要な情報収集及び広報、学習機会を提供する			
事業対象と手段 (誰に何を)	①教育林巡回監視事業 期日：4 月～1 1 月 内容：巡回監視により、遊歩道破損状況及び危険箇所、看板等設置物破損状況、危険動物痕跡等の確認を行う。 ②土橋自然観察教育林管理事業 ア 歩道修繕（木橋修繕） 工期：4 月頃及び随時 イ 歩道及び見本林草刈業務 工期：令和3 年 5 月 1 日～1 1 月 3 0 日 歩道 3 回（延べ延長 14, 558m）、見本林 2 回(延べ面積 3. 36ha)を予定 ウ 倒木処理業務 工期：4 月頃及び随時 ③教育林講座開催事業 ア 林内散策会 期日：5 月頃 講師：水本 絵夢 氏（元レクの森コーディネーター） 内容：専門家による解説を交えた林内の散策 イ 木育フェスタ in 厚沢部 期日：1 0 月頃 講師：周辺自治体木育マイスター 内容：木育マイスターによる林内の解説や体験学習の実施 ④土橋自然観察教育林連絡協議会運営 ア 現地確認 期日：4 月頃 場所：教育林 内容：林内を巡回し、林内の状況を確認する。 イ 会議 期日：1 2 月頃 場所：図書館視聴覚室 内容：教育林の保護と活用に関わる事業計画の協議 ⑤希少植物状況確認調査 期日：4 月～1 1 月 内容：環境コンサルタント会社等に委託し、林内植物の生育状況について継続的な調査記録を行う。			